

# 辛夷清肺湯・辛夷

藥局文献検索資料

2000. 3. 13

39 JST COPYRIGHT  
CN 89A0605450, L89365579  
TI 漢方がよく効く病氣 1V アレルギー疾患 2 アレルギー性鼻炎, アレルギー性副鼻腔炎  
ET Diseases for which Chinese medicines are effective. 4. Allergic diseases. 2. Allergic rhinitis and allergic sinusitis.  
AU 広瀬滋之 (広瀬クリニック)  
JN Z0681A (0369-674X) 日本薬剤師会雑誌  
VN VOL. 41, NO. 8 PAGE. 849-855 1989  
CI (A) (b2) (JA) (JPN)  
AB アレルギー性鼻炎は、まず麻黄剤 (小青竜湯、麻黄附子細辛湯など) でじっくり攻めることである。アレルギー性鼻炎の良くなったと言っている人の中には意外に血管運動性鼻炎のタイプの人が多い。漢方で言えば冷えの強い人で、苓甘きょう味辛夏仁湯や人參湯を服用しているうちに鼻炎が良くなった人である。アレルギー性副鼻腔炎は、辛夷清肺湯や排膿散・湯などで攻めた方が実効が上がる。このほか鼻アレルギーに対する全方治療を紹介した  
CC GW06020G, GX06030U, GQ05020H (615.218.03, 615.32.03, 616.21-085; 615.216)  
KW ヒト; 鼻アレルギー; 副鼻腔炎; 抗アレルギー薬; 植物性生薬; 副作用; 証; 小青竜湯; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 麻黄附子細辛湯; 苓甘きょう味辛夏仁湯; 辛夷清肺湯]

40 JST COPYRIGHT  
CN 89A0508784, L89312690  
TI 蓄膿症とアレルギー性鼻炎についての比較検討  
ET Comparative study on empyema and allergic rhinitis.  
AU 菅沼栄  
JN G0339C (0389-4843) 中医臨床  
VN VOL. 10, NO. 2 PAGE. 115-127 1989  
CI (A) (b2) (JA) (JPN)  
AB 蓄膿症とアレルギー性鼻炎について、中医学的名称、症型分類、方剤などを解説し、治療例 (鼻炎1例、アレルギー性鼻炎3例)、中医年鑑 (1983年~1986年) の掲載解説、治療例、また、中医学的な発病原因 (実証は肺経風熱など、虚証は肺氣不固など)、主症、兼症、治療原則、それぞれの方剤 (辛夷清肺湯など) について解説した  
CC GW04070V, GQ03020T, GX06030U, GA04000I (615.216.8.03, 616.211, 615.32.03, 615.32.03)  
KW ヒト; 東洋医学; 鼻アレルギー; 蓄膿症; 鼻炎; 証; 処方; 植物性生薬; 副作用; 耳鼻薬; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 辛夷清肺湯; 柴胡清肝湯; いんちん五苓散; 小清竜湯]

41 JST COPYRIGHT  
CN 89A0405924, L89242356  
TI 鼻閉に対する辛夷清肺湯の治療効果  
ET Therapeutic effect of siniseihaito on nasal obstruction.  
AU 鈴木茂 (公立気仙沼総合病院); 草刈潤, 高坂知節 (東北大 医)  
JN Z0085B (0288-2485) 漢方医学  
VN VOL. 12, NO. 1 PAGE. 24-28 1988  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (表20, 参12)  
AB 鼻閉を主訴とした慢性副鼻腔炎20例を対象に、辛夷清肺湯1日2回、1回2.5gを食前、12~16週間連続投与し、自覚症状、他覚症状及びレントゲン所見による改善度、全般改善度及び有用性を検討した。その結果、鼻閉に関しては、著効5例 (26.3%)、有効7例 (36.8%)、不変7例 (36.8%) で、改善率は63.1%であった  
CC GW04070V, GX06030U, GP05020E (615.216.8.03, 615.32.03, 617.7-085; 615.216)  
KW ヒト; 臨床試験; 副作用; 副鼻腔炎; 植物性生薬; エキス; 経口投与; 耳鼻薬; 自覚症状; 鼻茸; 鼻閉; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 辛夷清肺湯]

42 JST COPYRIGHT  
CN 88A0299737, L88192523  
TI 小学校入学前児童の花粉症とその成因  
ET Pollinosis and its etiology in children before entrance of primary school  
AU 中本彰司 (公立香住病院)  
JN Y0941A (0289-730X) 和漢医薬学会誌  
VN VOL. 4, NO. 3 PAGE. 426-427 1987  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写真3, 参3)  
AB 昭和59~61年の1~70歳代の花粉症患者1,133名を小学校入学前とそれ以後に分け、食物及び吸入アレルギーを解析した。好発時期:小学生男子、30代女性の2峰性を認めた。ダニ陽性率との関連は、就学前、中学生以降の比較で有意差あり、食物陽性率は、就学前児童が高く、30歳以降は激減。食物アレルギーとは各年齢層で有意に関連性を認めた  
CC GX06030U, GD04010C, GW06020G (615.32.03, 616-021+616-056.4, 615.218.03)  
KW ヒト; 児童; 花粉症; アレルギー; 食品アレルギー; ダニ類; 年齢差; 小学校; 免疫グロブリンE; 血清学的検査; 抗アレルギー薬; 植物性生薬; 副作用; 併用効果; 小青竜湯; 漢方製剤; ケトン; 脂環式化合物; 窒素複素環化合物; オレフィン化合物; 硫黄複素環化合物; 芳香族縮合化合物; ヒスタミンH1受容体遮断薬  
FT [和漢薬; 消風散; 越じ加じゅつ湯; 辛夷清肺湯; ケトチフェン]

43 JST COPYRIGHT  
CN 88A0268405, L88172406  
TI 気管支拡張症に対し中西医結合治療が有効であった1例  
ET A case of bronchiectasis effectively treated with combined treatment of Chinese medicine and Western medicine.  
AU 越口栄信 (越口医院)  
JN F0736B (0388-6719) 現代東洋医学  
VN VOL. 9, NO. 1, 随増 PAGE. 27-29 1988  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写真1, 参2)  
AB 発咳、息切れ、全身衰弱を主訴とする67歳(女)の治験例を述べた。西洋医学的治療として脱水と感染症に対し、各種ビタミン剤、抗生物質を加えた補液療法を行い、漢方処方では心、腎、肺の陰虚証、裏寒証、けちん病を目標とし、辛夷清肺湯、苓甘きょう味辛夏仁湯を投与したところ、自覚症状の改善、ぜん膈、呼吸困難が消失した  
CC GW03020U, GX06030U, GQ05020J (615.23.03, 615.32.03, 616.2-085)  
KW ヒト; 女性; 症例報告; 薬物療法; 気管支拡張症; 植物性生薬; 呼吸器作用薬; 経口投与; 副作用; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 辛夷清肺湯; ぶく苓四逆湯]

36 JST COPYRIGHT  
CN 90A0532187, L90302719  
TI 食物アレルギーと和漢薬・抗アレルギー薬の併用療法  
ET Food allergy and combined therapy with oriental drug and antiallergic agent.  
AU 中本彰司, 大谷いずみ, 成田光洋, 渡部雅史 (公立香住病院)  
JN Y0941A (0289-730X) 和漢医薬学会誌  
VN VOL. 6, NO. 3 PAGE. 302-303 1989  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図5, 参4)  
AB 昭和59年から昭和63年までの5年間, 公立香住病院で発見された食物アレルギー性患者801名を対象に, 治療は緩やかな制限食に漢方薬と抗アレルギー薬の併用療法とした。漢方薬は小青竜湯, 柴朴湯, 消風散, 越婢加朮湯, 辛夷清肺湯等の単独または合方を用い, 抗アレルギー薬はトラニラストまたはケトチフェンを用いた。  
CC GX06020G, GX06030U, G004030Y (615.218.03, 615.32.03, [616-021+616-056.4]-08)  
KW ヒト; 臨床試験; 副作用; 食品アレルギー; 抗アレルギー薬; 植物性生薬; 併用効果; アレルゲン; 免疫グロブリンE; 小柴胡湯; 柴朴湯; 漢方製剤; 芳香族アミン; 芳香族カルボン酸; オレフィン化合物; カルボアミド; 不飽和カルボン酸; フェニールエーテル; ヒスタミンH1受容体遮断薬; ケトン; 脂環式化合物; 窒素複素環化合物; 硫黄複素環化合物; 芳香族縮合化合物  
FT [和漢薬; 消風散; 越婢加朮湯; 辛夷清肺湯; トラニラスト; ケトチフェン]

37 JST COPYRIGHT  
CN 90A0673671, L90293054  
TI 辛夷清肺湯にて鼻茸が完全消失した症例  
ET Cases of nasal polyp which disappeared completely by shiniseihaitou.  
AU 田辺智子 (田辺耳鼻咽喉科医院)  
JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
VN VOL. 6, NO. 3 PAGE. 40-41 1987  
CI (A) (a2) (JA) (JPN) (写図5, 表1)  
AB 手術が必要と思われた慢性副鼻腔炎, 鼻たけの2症例(41歳及び53歳のいずれも女性)に対し, 抗生剤, 消炎剤, 消炎剤を使用後, 41歳の女性は辛夷清肺湯(1)5gを3か月投与後, 鼻たけが完全消失し, 著効例であった。53歳の女性は, その後, 17.5g, 排膿散及び湯7.5gを2週間投与し, 少量の鼻汁を認めるのみになった。その後, かげの時以外は17.5gのみ7か月間投与させ, 鼻たけが縮小傾向を示し, 初診時より, 9か月目には鼻たけが完全消失した。  
CC GX06030U, G005020H (615.32.03, 616.21-085:615.216)  
KW 症例報告; 副鼻腔炎; 鼻茸; ヒト; 臨床試験; 経口投与; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 辛夷清肺湯; 排膿散; 排膿湯]

38 JST COPYRIGHT  
CN 90A0141640, L90122587  
TI 医薬品の中の漢方製剤 シリーズ14 鼻炎用薬 漢方処方における薬効群 (5) 解熱薬 漢方処方における薬効群 (6)  
ET Drugs for rhinitis - Drug group in the Chinese medicine formulation. (5). Drugs for febrile feeling - Drug group in the Chinese medicine formulation. (6).  
AU 原田正敏 (衛試)  
JN F0736B (0388-6719) 現代東洋医学  
VN VOL. 11, NO. 1-PAGE. 114-119 1990  
CI (A) (b2) (JA) (JPN) (写図2, 表2, 参6)  
AB 鼻炎用薬及び解熱薬における薬効群を構成する現代的医薬品, 所属する処方と効能・効果, 本薬効群の特徴, 処方, 現代的医薬品との比較などについて述べた。なお, 鼻炎用薬の処方, 麻黄湯, 葛根湯, 葛根湯加川きゅう辛夷, 小青竜湯, 小青竜湯加石膏, 荊芥連ぎょう湯及び辛夷清肺湯, 解熱薬の処方, 白虎湯, 白虎加桂枝湯, 白虎加人参湯及び三物黄ごん湯について解説した。  
CC GW04070V, GX06030U, G005020H (615.216.8.03, 615.32.03, 616.21-085:615.216)  
KW 資料調査; 耳鼻薬; 解熱鎮痛薬; 植物性生薬; 処方; ヒト; 鼻炎; 葛根湯; 小青龙湯; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 麻黄湯; 荊芥連ぎょう湯; 辛夷清肺湯; 白虎湯]

33 JST COPYRIGHT  
CN 90A0890254, L91022360  
TI 特集耳鼻咽喉科疾患 (11) 現代医学の立場から 慢性副鼻腔炎と慢性咽頭炎の漢方療法  
ET Therapy of the chronic sinusitis and pharyngolaryngitis with chinese traditional herb drug (kampo). General considerations from the standpoint of the occidental medicine.  
AU 沢木修二 (横浜市大)  
JN F0736B (0388-6719) 現代東洋医学  
VN VOL. 11, NO. 4 PAGE. 16-20 1990  
CI (A) (b2) (JA) (JPN) (写図3, 表1, 参7)  
AB 慢性副鼻腔炎, 慢性咽頭炎ともに治りにくく漢方薬による治療が見直されるようになった。漢方療法の概略を現在行われている西洋医学的治療と対比しながら解説した。また, 辛夷清肺湯1日7.5gを慢性副鼻腔炎患者31例に投与し, 併用例, 未投与例と比較したところ併用群と同程度の効果を得た。59歳男性で再発をみない代表症例も報告した。  
CC GX06030U, G005020H (615.32.03, 616.21-085:615.216)  
KW ヒト; 薬物療法; 副鼻腔炎; 咽頭炎; 経口投与; 葛根湯; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 辛夷清肺湯]

34 JST COPYRIGHT  
CN 90A0667116, L90332420  
TI 浸出性中耳炎の治療経験  
ET A medical treatment experience of exudative otitis media.  
AU 木山博夫 (木山医院)  
JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
VN VOL. 9, NO. 2 PAGE. 57-63 1990  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図4, 表1, 参11)  
AB 標題について漢方薬使用例を中心にまとめ報告した。患者の年齢分布は3~4歳, 6~7歳で多発し9歳以降は減少し, 治療期間では改善例は6~12週に集中し, 薬物・手術療法の有効率は83%であった。漢方薬による有効率は56%で, 改善例では葛根湯加川きゅう辛夷37%, 小柴胡湯27%の有効率で, 前者は鼻内所見の改善率において後者や五苓散に比べ優れていた。  
CC GX06030U, G005020H (615.32.03, 616.21-085:615.216)  
KW 中耳炎; ヒト; 臨床試験; 経口投与; 外科術; 併用効果; 葛根湯; 五苓散; 小柴胡湯; 柴胡桂枝湯; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 葛根湯加川きゅう辛夷; 荊芥連ぎょう湯; 辛夷清肺湯; 小建中湯; 浸出性中耳炎]

35 JST COPYRIGHT  
CN 90A0532212, L90302772  
TI 副鼻腔気管支症候群 (SBS), とくにびまん性汎細気管支炎 (DPB) に対する葛根湯加川きゅう辛夷の併用効果  
ET Combined effect of kakkontoukassenkyushini for sinobronchus syndrome (SBS), especially for diffuse panbronchiolitis (DPB).  
AU 江頭洋祐, 牛島正久 (公立玉名中央病院)  
JN Y0941A (0289-730X) 和漢医薬学会誌  
VN VOL. 6, NO. 3 PAGE. 444-445 1989  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図1, 表2, 参2)  
AB 副鼻腔気管支症候群の患者20例 (慢性気管支炎13例, 気管支拡張症2例, びまん性汎細気管支炎5例)を対象に, 葛根湯加川きゅう辛夷を第一選択とし, それで不適合のもの, または間証で色浅黒く発汗傾向のある場合には荊芥連ぎょう湯, 副鼻腔症候群が主である場合は辛夷清肺湯を, 1日3回, 3か月以上長期投与とし, 上気道は鼻閉, 鼻汁, 後鼻漏を, 下気道では咳, たん, 呼吸困難を追随し, 理学的所見, 肺機能, 血液ガス, X線像などをチェックした。  
CC GW08020U, GX06030U, G105020J (615.23.03, 615.32.03, 616.2-085)  
KW ヒト; 臨床試験; 副作用; 気管支炎; びまん性疾患; 副鼻腔炎; 合併症; 呼吸器作用薬; 植物性生薬; 長期投与; 自覚症状; 漢方製剤  
FT [和漢薬; 葛根湯加川きゅう辛夷; 副鼻腔気管支症候群; 荊芥連ぎょう湯; 辛夷清肺湯]

詳細情報 43件の集合中、31件目～43件目を表示しています。

表示されている情報についての説明はヘルプをクリックして下さい。  
複写を申し込む場合は、□をチェックし、「複写申込」ボタンをクリックして下さい。  
チェックは一度に10件までです。

指定の詳細情報の表示が終了してから次の操作を行って下さい。

31 JST COPYRIGHT  
CN 92A0296443, L92333205  
TI 漢方薬の2剤併用療法で著効を得た2症例  
ET Two cases obtained higher efficacy by combination therapy of two Chinese medicines.  
AU 永田和人 (永田耳鼻咽喉科)  
JN 50791B (0288-3643) 漢方診療  
VN VOL. 10, NO. 6 PAGE. 37-39 1991  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図6, 表1, 参5)  
AB 症例1の29歳の女性の外耳道・耳介部の比較的重症例に対し、十味敗毒湯と消風散を併用投与し、9日後、外耳道及び耳介部は表面にわずかに皮を残すのみで、かゆみ、耳漏は消失した。症例2の59歳男性のレントゲン線上悪性腫瘍も疑われた急性副鼻腔炎の糖尿病患者に対し、葛根湯加川きゅう辛夷と辛夷清肺湯を併用投与し、投薬後、日増しに症状が改善し、2か月ほどほとんど治癒してしまった  
CC GX06030U, GQ05020H (615.32.03, 616.21-085:615.216)  
KW ヒト; 女性; 男性; 症例報告; 外耳炎; 副鼻腔炎; 副作用; 経口投与; 併用効果; 漢方製剤; ステロイド; ステロイドホルモン; 有機ふっ素化合物; グルココルチコイド; エノン; 脂環式アルコール; 脂環式ケトン; アミノ糖; 糖アルコール; デオキシ糖; ビラノシド; 三糖類; アミノグリコシド系抗生物質  
FT [和漢薬; 十味敗毒湯; 消風散; 葛根湯加川きゅう辛夷; 辛夷清肺湯; ベタメタゾン; ゲンタマイシン]  
SW 甘草酸ベタメタゾン(J7.3376)

32 JST COPYRIGHT  
CN 91A052352, L91362481  
TI 慢性副鼻腔炎に対するツケ辛夷清肺湯の効果について  
ET On effect of Tsuke-shiniseihaito for chronic sinusitis.  
AU 長船宏隆, 水吉陽子, 谷野徹, 野村俊隆, 小田まこと (東邦大 医 大森病院); 小松崎寛 (東京医歯大)  
JN F0664B (0287-3648) Prog Med  
VN VOL. 11, NO. 5 PAGE. 1438-1440 1991  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図3, 表1, 参2)  
AB 慢性副鼻腔炎10例(36~75歳)に、9種類の生薬よりなる辛夷清肺湯(7.5g/日)を84~350日間投与した。全般改善度は80%であり、鼻閉、甲介腫脹、後鼻漏、鼻のかみにくさなどの自覚症状およびX線所見の改善も高い安全性を示した。症例が比較的高齢者で長期にわたる投与にもかかわらず副作用も認めなかった  
CC GW15020E, GX06030U, GQ05020H (615.276.03, 615.32.03, 616.21-085:615.216)  
KW ヒト; 副鼻腔炎; 副作用; 消炎薬; 経口投与; 長期投与; 自覚症状; 病気; 漢方製剤  
FT [慢性疾患; 和漢薬; 辛夷清肺湯]

12 JST COPYRIGHT  
CN 90A0250042, L90132852  
TI 補中益気湯について  
ET On hochuekkitou.  
AU 山崎正寿 (聖光園 細野診療所)  
JN X0156A (0912-0262) 鑑薬百味だんす  
VN NO. 29 PAGE. 2903-0905 1989  
CI (A) (b2) (JA) (JPN)  
AB 補中益気湯(1)の来歴、内傷と外感、1の薬方の組み立て、適応すべき証について述べ、さらに、73歳の男性の20年前の陳旧性肺結核症の再発を強く疑わせる症例を紹介した。本症例に1と乱髪霜を兼用、6か月後、柴胡桂枝湯、柴葛湯加川きゅう、辛夷などに転方、現在1年4か月経過良好  
CC GX06030U (615.32.03)  
KW ヒト; 経口投与; 処方; 証; 肺結核; 気管支拡張症; 補中益気湯; 漢方製剤  
FT [和漢薬]

13 JST COPYRIGHT  
CN 89A0413381, L89242180  
TI (±)ヒゲナミンと、その化学的関連化合物の伝統的和漢薬“ぶし”と“しんい”に含まれる(+) -R-コクラウリンと(+) -S-レチクリンの抽出モルモット乳頭筋における変力作用  
ET Inotropic effects of (±) -higenamine and its chemically related components, (+) -R-coclaurine and (+) -S-reticuline, contained in the traditional Sino-Japanese medicines "Bushu" and "Shin-i" in isolated guinea pig papillary muscle.  
AU KIMURA I, CHUI L-H, KIKUCHI T, KIMURA M (Toyama Medical and Pharmaceutical Univ., Toyama, JPN); FUJITANI K (Kyoto Pharmaceutical Univ., Kyoto, JPN)  
JN G0813A (JJPAA) (0021-5198) Jpn J Pharmacol  
VN VOL. 50, NO. 1 PAGE. 75-78 1989  
CI (A) (a2) (EN) (JPN) (写図2, 参6)  
AB トリカブト根の強心成分(±)ヒゲナミン(1)は乳頭筋のCa<sup>2+</sup>収縮の用量反応曲線を左方移動し、インプロテレンール(11)による収縮の用量反応曲線を左方移動傾向で、陽性変力作用を示した。(+) -R-コクラウリン(Coc)と(+) -S-レチクリン(Ret)は1による収縮の用量反応曲線を右方移動した。又、低濃度11とCa<sup>2+</sup>による収縮を抑制し、高濃度11とCa<sup>2+</sup>による収縮を促進した。以上、CocとRetには陰性変力作用があることが示された  
CC GW07020N, GX06020J (615.221/.224, 615.32.015)  
KW 植物性生薬; 強心薬; モルモット; 心筋; 筋収縮; トリカブト; 根; カルシウム; 変力作用; 立体異性体; 多価フェノール; 漢方製剤; アルコール; アドレナリン作動薬; カテコールアミン; 窒素複素環化合物; 芳香族縮合化合物; フェノール類  
FT [和漢薬; レチクリン; コクラウリン; ヒゲナミン; ぶし; しんい; インプロテレンール; ヒドロイソキノリン誘導体; 二環; フェノール誘導体]

14 JST COPYRIGHT  
CN 88A0449423, L88273239  
TI Magnolia fargesiiの花芽の新しい3種のネオリグナン、ファルゲゾンA, B, 及びC  
ET Three new neolignans, fargesones A, B and C, from the flower buds of Magnolia fargesii.  
AU CHEN C-C, HUANG Y-L, CHEN Y-P, HSU H-Y (Briion Research Inst. Taiwan, Taipei, TWN); KUO Y-H (National Taiwan Univ., Taipei, TWN)  
JN G0504A (CPBTA) (0009-2363) Chem Pharm Bull  
VN VOL. 36, NO. 5 PAGE. 1791-1795 1988  
CI (A) (a1) (EN) (JPN) (参2, 参11)  
AB 辛夷(顯花植物の花芽)のクロロホルム抽出液から新しいネオリグナンであるファルゲゾンA, B, C, 及び既知化合物であるデヌダチンB, シリギン単離、精製した。3種の新しいネオリグナンの構造を化学的手法及び<sup>1</sup>H-NMR, <sup>13</sup>C-NMRなどのスペクトルデータから決定した  
CC GX06010Y (615.32)  
KW モクレン属; 花芽; 植物性生薬; リグナン; NMR【磁気共鳴】; 単離; 精製; 脂環式ケトン; 芳香族ケトン; 酸素複素環化合物; 芳香族縮合化合物; 脂環式化合物; オレフィン化合物; ジエン; エノン  
FT [ファルゲゾンA; ファルゲゾンB; ファルゲゾンC; 辛夷; Magnolia fargesii; ベンジオキソール誘導体; テトラヒドロフラン誘導体; シクロヘキセン誘導体; シクロヘキサジエン誘導体]

9 JST COPYRIGHT  
CN 93A0402777, J93090469, L93252785  
TI 合成中間体としてのカルコン 抗アレルギーネオリグナンの(土) - マグノサリンの簡便な合成法  
ET Chalcones as Synthetic Intermediates. A Facile Route to (土) - Magnosalicin, an Antiallergy Neolignan.  
AU MURAOKA O, SAWADA T, MORIMOTO E, TANABE G (Kinki Univ., Osaka, JPN)  
JN G0504A (CPBTA) (0009-2363) Chem Pharm Bull  
VN VOL. 41, NO. 4 PAGE. 772-774 1993  
CI (A) (a2) (EN) (JPN) (参9)  
AB マグノサリン(1)は漢方薬辛夷として知られるMagnolia salicifoliaから抽出される。3-ビス(2,4,6-トリメトキシフェニル)プロパ-2-エン-1-オンを出発物質として三段階の反応で(1R\*, 2R\*, 3S\*)-1,3-ビス(2,4,5-トリメトキシフェニル)-2-メチルペンタ-4-エン-1-オンを合成した。これをフェニルセレンクロリドで処理して環化した後、さらに一段階の反応を経て1を得た  
CC F07072V, G01030F (547.722/.725, 615.31)  
KW リグナン; フェニルエーテル; モクレン属; 化学合成; 立体特異性反応; 環化反応; 有機セレン化合物; 抗アレルギー薬; 酸素複素環化合物; 芳香族ケトン; エノン  
FT [マグノサリン; Magnolia salicifolia; ネオリグナン; テトラヒドロフラン誘導体; カルコン誘導体]

10 JST COPYRIGHT  
CN 92A0302890, L93032691  
TI 辛夷成分によるラット培養血管内皮細胞の増殖抑制作用  
ET Antiproliferative activity of a rat vascular endothelial cell by Shin-i component.  
AU 長浦健, 古林伸二郎, 木村郁子, 木村正康, 吉崎正雄 (富山医薬大 薬); 門田重利, 菊池徹 (富山医薬大 和漢薬研)  
JN Y0941A (0289-730X) 和漢医薬学会誌  
VN VOL. 8, NO. 3 PAGE. 372-373 1991  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (参2)  
AB 辛夷成分のマグノサリン(1), マグノニン(11)のラット培養血管内皮細胞の増殖抑制作用を、重合に対する作用として細胞増殖開始までのラグタイムで、また進行に対する作用として増殖曲線の傾きの変化で測定し、解析した。その結果、この方法により1と11は、血管内皮細胞の増殖を異なる機作で抑制することを明らかにした  
CC GW15010T, GX06020J (615.276, 615.32.015)  
KW 植物性生薬; モクレン科; 成分; 消炎作用; ラット; 血管; 内皮細胞; 培養細胞; 増殖阻害; 放射性トレーサ法; 作用機序  
FT [辛夷; Magnolia liliflora; マグノサリン; マグノニン]  
SW マグノサリン(3476.254A); マグノニン(3476.2553)

11 JST COPYRIGHT  
CN 90A0398203, L90183116  
TI 縮砂・良きょう・香附子辛夷・菊花・広かっ香の品質  
ET The quality of crude drugs: Amomum seed, alpinia rhizome, cyperus rhizome, magnolia bud, chrysanthemum flower, patchouli herb.  
AU 西本和光 (衛試)  
JN F0736B (0388-6719) 現代東洋医学  
VN VOL. 11, NO. 2 PAGE. 487-494 1990  
CI (A) (b2) (JA) (JPN) (写図)0, 参9  
AB 縮砂の原植物名、分布をあげ、その品質は香味の強いものが良質とされ精油含量で評価されることを述べた。高良きょうの原植物は1種だけであり、外面が帯赤褐色で香味の濃いものが良品とされること、大高良きょうとは異なることを示した。また香附子、辛夷、菊花、広かっ香について、その原植物、品質などを概説し、乾生きょうと乾きょうとの相違について述べた  
CC GX06010Y (615.32)  
KW 植物性生薬; ショウガ科; カヤツリグサ科; モクレン属; キク属; シン科; 品質; 香附子  
FT [縮砂; 良きょう; 辛夷; 広かっ香; 生きょう]

6 JST COPYRIGHT  
CN 96A0131187, L96113116  
TI 鼻アレルギーとその周辺疾患に対する辛夷清肺湯の治療効果  
ET Therapeutic effect of Shin-i-seihai-tou on nasal allergy and peripheral diseases.  
AU 小川浩司, 橋口一弘 (北里研 病院)  
JN F0664B (0287-3648) Prog Med  
VN VOL. 15, NO. 12 PAGE. 2617-2618 1995  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (表3, 参2)  
AB 辛夷が持っている抗アレルギー作用特に肥満細胞からの化学的伝達物質遊離を抑制するという実験的事実に注目し、辛夷清肺湯(1)をアレルギー疾患に用いてその治療効果を検討した。6名のアレルギー性副鼻腔炎患者に対して1の単独治療を行った結果、有効2例、やや有効1例、無効3例で、また8例のアレルギー性鼻炎に対しては無効であった。更に鼻たけのある又は無い慢性副鼻腔炎に対して1で治療した結果、症状の改善を示す例を認められた  
CC Q005020H (616.21-085:615.216)  
KW 鼻アレルギー; 漢方製剤; ヒト; 臨床薬理試験; 鼻茸; 副鼻腔炎; 抗アレルギー作用; 肥満細胞  
FT [辛夷清肺湯]

7 JST COPYRIGHT  
CN 95A0788976, L96013175  
TI 脳虚血に用いられる漢方方剤のフリーラジカル消去活性 (第2報)  
ET Studies on Attenuation of Post-Ischemic Brain Injury by Kampo Medicines-Inhibitory Effects of Free Radical Production, II.  
AU 伏谷秀治, 水口和生, 土屋浩一郎, 高杉益充 (徳島大 医 病院); 村上光太郎 (徳島大 薬)  
JN F0508A (YKKZA) (0031-6903) 薬学雑誌  
VN VOL. 115, NO. 8 PAGE. 611-617 1995  
CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図3, 表1, 参21)  
AB 実験試料は柴胡加竜骨牡蛎湯、黄連解毒湯、大黃牡丹皮湯、桂枝茯苓丸、及び単味の生薬イチョウ葉、辛夷、メナモミ、アリノスタマを用いた。これらのマウス脳脂質(ホモネート)に対する過酸化抑制効果と、マウスにこれら漢方方剤を3週間経口投与したときのマウス脳脂質過酸化抑制効果を検討した。結果からこれら漢方方剤の薬理作用に言及した  
CC GX06020J, ED01010F (615.32.015, 612.017)  
KW マウス; 黄連解毒湯; 桂枝茯苓丸; 植物性生薬; 経口投与; 長期投与; 終脳; 過酸化脂質; ラジカル; 酸化防止; 脳虚血

8 JST COPYRIGHT  
CN 95A0236086, L95233071  
TI 葛根湯加川きょう辛夷の成立事情  
ET Circumstances surrounding the Completion of Kampo Formula, Kakkon-to-ka-senkyu-shin-i.  
AU 小山誠次 (伏見診療所)  
JN Z0304B (0287-4857) 日本東洋医学雑誌  
VN VOL. 45, NO. 3 PAGE. 619-623 1995  
CI (A) (b2) (JA) (JPN) (参25)  
AB 葛根湯加味方に関する「1940年までの文献には辛夷の加味については皆無である」という記述について検討した。まずコブシが辛夷に充てられて使用されるようになった経緯、「本草綱目」に辛夷と川きょうの配合が記載されている事、また流派によりその配合が異なる事、梅毒疹の出現状況や水銀剤の副作用軽減目的などに応じて対処されてきた事などを明白にした  
CC GA04000I (61(5))  
KW 葛根湯; 古文書; 資料調査; 処方; エキス剤; 漢方製剤  
FT [葛根湯加川きょう辛夷]

3 JST COPYRIGHT  
CN 97A0202197, L97193167  
TI 慢性鼻副鼻腔炎になぜ葛根湯か葛根湯加辛夷川きゅうのルーツ及び辛夷、黄ごんに就て  
ET Why is kakkonntou effective for chronic sinusitis? On a root of kakkontou added shinisenkyuu, shini and oukin.  
AU 柏木佑記 (柏佑堂薬局)  
JN G0944A (0451-307X) 漢方の臨床  
VN VOL. 44, NO. 1 PAGE. 81-93 1997  
CI (A) (b1) (JA) (JPN) (写図1, 表1, 参21)  
AB 慢性疾患に対して古今の諸先達は葛根湯をベースにした加味方を用い、桂枝加葛根湯加味はあまり見られない。文献をもとに葛根湯の中の麻黄の存在と解表薬について考察し、古方派における葛根湯加味方の工夫、矢数道明先生の症例についてのべた。また葛根湯加辛夷川きゅうのルーツ・特に辛夷の考察、古方派が葛根湯加味方として黄ごんを用いなかった理由などを述べた  
CC GX06020J, G095020H (615.32.015, 616.21-085:615.216)  
KW 副鼻腔炎; 葛根湯; マオウ属; 処方; 東洋医学; 薬理作用; 併用効果; 病氣; 植物性生薬  
FT [慢性疾患; 辛夷; 解表薬; 葛根湯加辛夷川きゅう; 黄ごん]

4 JST COPYRIGHT  
CN 96A0324048, L96153333  
TI 慢性関節リウマチの漢方治療 辛夷成分による選択的抗炎症作用から 慢性関節リウマチ薬への展開  
ET Chinese medicine treatment of the rheumatoid arthritis. From selective anti-inflammatory action by Shin-i component. The development to rheumatoid arthritis medicine.  
AU 木村正康 (富山医薬大)  
JN Z0304B (0287-4857) 日本東洋医学雑誌  
VN VOL. 46, NO. 5 PAGE. 708-710 1996  
CI (A) (b2) (JA) (JPN)  
AB 葛根湯加川きゅう辛夷の抗炎症作用を検討して辛夷成分のマグノサリン(1)とマグノニンの選択的抗炎症作用を動物病態モデルやヒト細胞で実証した結果を示した。内皮細胞に各々作用を起こすサイトカインに対して1の作用が強く発現し、また慢性炎症特に関節滑膜等に強く作用が発現し選択性があることを証明した  
CC GX06020J (615.32.015)  
KW 消炎作用; 慢性関節リウマチ; 漢方製剤; 動物実験; マウス; 病態モデル; サイトカイン; ヒト; 滑膜; 細胞増殖  
FT [辛夷; 葛根湯加川きゅう辛夷; マグノサリン; マグノニン]  
SW マグノサリン(J476.254A); マグノニン(J476.255J)

5 JST COPYRIGHT  
CN 96A0081401, L96143235  
TI 漢方エキス剤の生薬成分の確認 (その2) 辛夷について  
ET Identification of Crude Drug Constituents in Kampo Prescriptions. (Part 2) Magnoliae Flos.  
AU 東野正行 (日本粉末薬品)  
JN L2426A 生薬分析シンポジウム講演要旨  
VN VOL. 24th PAGE. 63-68 1995  
CI (C) (a1) (JA) (JPN) (写図6, 表2, 参4)  
AB 薄層クロマトグラフ法による確認法についての検討を、生薬及びその漢方処方について行った。シニイについては、産地やロットにより化学成分の組成、含量の差はあるが、検討した条件下で、Rf値0.30~0.35に発現するスポットが、確認指標として適当と考えられた。漢方処方ではこう雑物の除去にはアルミナ処理が有効であった  
CC GX06010Y (615.32)  
KW モクレン属; 植物性生薬; 漢方製剤; 花芽; 薄層クロマトグラフィー; 品質検査

ヘルプ

履歴保存

検索結果

複写申込

検索終了

詳細情報 14件の集合中、1件目~14件目を表示しています。

表示されている情報についての説明はヘルプをクリックして下さい。  
複写を申し込む場合は、をチェックし、「複写申込」ボタンをクリックして下さい。  
チェックは一度に10件までです。

指定の詳細情報の表示が終了してから次の操作を行って下さい。

1 JST COPYRIGHT  
CN 99A0353123, L99182855  
TI 辛夷は肥満細胞依存性即時型アレルギー反応を抑制する  
ET Magnoliae flos inhibits mast cell-dependent immediate-type allergic reactions.  
AU KIM H-M, YI J-M, LIM K-S (Wonkwang Univ. Chonbuk, KOR)  
JN E0326B (1043-6618) Pharmacol Res  
VN VOL. 39, NO. 2 PAGE. 107-111 1999  
CI (A) (a1) (EN) (GBR) (写図3, 表2, 参20)  
AB 辛夷は朝鮮においてアレルギー疾患の治療に用いられる。compound 48/80を正常なマウスに塗布すると耳腫脹反応を起こすが肥満細胞を欠くマウスでは反応を起こさない。辛夷は濃度依存的に肥満細胞依存性耳腫脹反応を抑制した。ラットにおいて抗ジトロフェニルIgEによって誘導された受動的皮膚アナフィラキシー反応を辛夷は抑制した。ラット末梢肥満細胞からのcompound 48/80又は抗ジトロフェニルIgEによるヒスタミン放出を辛夷は抑制した。また、compound 48/80による全身性アナフィラキシー反応も抑制した。この結果から、肥満細胞の脱粒を阻害することによって即時型アレルギー反応を辛夷が抑制することを示唆した。  
CC GX06020J (615.32.015)  
KW 肥満細胞; アナフィラキシー; 脱粒; 即時型アレルギー; 濃度依存性; 動物実験; ラット; マウス; 免疫グロブリンE; 植物性生薬; 皮膚反応; 第一アミン; 窒素複素環化合物  
FT [辛夷]  
SW ヒスタミン(J4.117C)

2 JST COPYRIGHT  
CN 98A0721951, L98293440  
TI リウマチモデルにおける滑膜細胞の増殖に対する「辛夷」(Flos magnoliae)由来の化合物であるマグノサリンを含む抗リウマチ薬の抑制効果  
ET Inhibitory effects of anti-rheumatic drugs containing magnosalin, a compound from 'Shin-i' (Flos magnoliae) on the proliferation of synovial cells in rheumatoid arthritis models.  
AU KOBAYASHI S, KOBAYASHI H, MATSUNO H, KIM URA I, KIMURA M (Toyama Medical and Pharmaceutical Univ., Toyama, JPN)  
JN E0743B (IMMUD) (0162-3109) Immunopharmacology  
VN VOL. 39, NO. 2 PAGE. 139-147 1998  
CI (A) (a1) (EN) (NLD) (写図5, 参40)  
AB 漢方薬「辛夷」(Flos magnoliae)由来の抗リウマチ薬であるマグノサリン(1)のMRP/1prマウス、コラーゲン関節炎(CIA)マウス、慢性関節リウマチ患者の滑膜細胞の増殖に対する影響を調べた。1はMRP/1pr滑膜細胞の増殖を、2~24μMで強く抑制し、その効果はヒドロコルチゾンより強かったが、コルチコステロンよりは弱かった。CIAマウスや患者の滑膜細胞の増殖は1に対してより感受性が高かった。1は特にIL-1αによる細胞増殖の促進を抑制しているらしい。  
CC GW15010T, GX06020J (615.276, 615.32.015)  
KW マウス; ヒト; In vitro実験; 動物; 慢性関節リウマチ; 関節炎; 抗リウマチ薬; 漢方製剤; 植物性生薬; 滑膜; 培養細胞; 細胞増殖; モクレン科; リグナン; インターロイキン1; 脂肪酸カルボン酸; ステロイド; ステロイドホルモン; グルココルチコイド; エノン; 脂環式アルコール; 脂環式ケトン; ミネラルコルチコイド; カルボン酸  
FT [コラーゲン関節炎; マグノサリン; Flos magnoliae; インターロイキン1アルファ; プシラミン; マグノニン; 辛夷; ヒドロコルチゾン; コルチコステロン; プロピオン酸誘導体]  
SW マグノサリン(J476.254A); ヒドロコルチゾン(J1.908I); プシラミン(J22.800A); マグノニン(J476.255J); コルチコステロン(J5.239F)

慢性副鼻腔炎と慢性咽頭炎の漢方療法

澤木 修二

生薬:

成分:

処方: 辛夷清肺湯

雑誌名: 現代東洋医学  11巻 1990年  4号 16頁 通算  頁

報告: 治験例 標的器官: 筋・感覚器系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: 慢性副鼻腔炎の保存的治療として辛夷清肺湯(1)を投与し、消炎酵素剤セラチオペンシリン(2)を併用して比較したところ、(1)単独及び(1)(2)併用では改善が認められたが(2)単独では認められなかった。

桑菊飲によるアレルギー性鼻炎の治療

白石 佳正

生薬:

成分:

処方: 桑菊飲、辛夷清肺湯

雑誌名: 現代東洋医学  12巻 1991年  1号 304頁 通算  頁

報告: 治験例 標的器官: 免疫系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: 症例報告: アレルギー性鼻炎(51歳、女)(66歳、女) 桑菊飲加減方を用いて、かなりの効果が得られたことを報告した。  
参照: 難病、難症の漢方治療第4集(臨時増刊号)

瀉白散料が有効であった成人型トピー皮膚炎の2例

石田 洋子

生薬:

成分:

処方: 瀉白散料、辛夷清肺湯、半夏厚朴湯、加味逍遙散

雑誌名: 現代東洋医学  12巻 1991年  1号 277頁 通算  頁

報告: 治験例 標的器官: 感染・免疫系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬: ポララミン、タベジール、リンデロンVG軟膏、デルモベート

内容: 症例報告: 熱虚証、拒経のアトピー性皮膚炎には、瀉白散料が有効と考えられた。(19歳、男)(19歳、女)  
参照: 難病、難症の漢方治療第4集(臨時増刊号)

症候群と漢方製剤(24)-鼻汁や鼻閉感を改善する生薬-

谿 忠人

生薬: 辛夷

成分:

処方: 葛根湯加辛夷川、荊芥連翹湯、辛夷清肺湯、小青竜湯、他

雑誌名: 薬局  41巻 1990年  5号 99頁 通算  頁

報告: 治験例 標的器官: 呼吸器系

剤形: エキス剤 投与経路:  投与量:

併用薬:

内容: ①鼻汁や鼻閉感に用いられる生薬と処方: 1)急性期の鼻汁や鼻閉感に用いられる麻黄剤2)アレルギー性鼻炎に対する小青竜湯の薬効薬理作用3)辛夷の規格と薬理と薬能4)慢性期の鼻汁や鼻閉感に用いられる漢方処方  
②鼻汁や鼻閉感における伝統医療の病理: 鼻汁、鼻閉感の弁証

「返品」：副作用情報 252

生薬：  
成分：  
処方：辛夷清肺湯

雑誌名：東医研データ 巻 1993年 \*\*\*号 \*\*\*頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：呼吸器系  
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：喘息[s14.11.21、男]：上記処方後、間質性肺炎となる。  
その後、Ftを行い原因を確認したが、相関性は認められなかった。  
(村主)

「返品」：副作用情報 160

生薬：  
成分：  
処方：辛夷清肺湯

雑誌名：東医研データ 巻 1992年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：脳・神経系  
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：自律神経失調症[s10.3.31、女]上記処方後、胃痛発現。  
その後、竹茹温胆湯に変更となった。(村主)

症候群と漢方製剤(24)-鼻汁や鼻閉感を改善する生薬-  
谿 忠人

生薬：辛夷  
成分：  
処方：葛根湯加辛夷川、荊芥連翹湯、辛夷清肺湯、小青竜湯、他

雑誌名：薬局 41巻 1990年 5号 99頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：呼吸器系  
剤形：エキス剤 投与経路： 投与量：

併用薬：

内容：①鼻汁や鼻閉感に用いられる生薬と処方：1)急性期の鼻汁や鼻閉感に用いられる麻黄剤2)アレルギー性鼻炎に対する小青竜湯の薬効薬理作用3)辛夷の規格と薬理と薬能4)慢性期の鼻汁や鼻閉感に用いられる漢方処方  
②鼻汁や鼻閉感における伝統医療の病理：鼻汁、鼻閉感の弁証

慢性副鼻腔炎に対する漢方薬の使用性(報告)

前田 寿

生薬：  
成分：  
処方：荊芥連翹湯、辛夷清肺湯

雑誌名：漢方診療 11巻 1992年 10号 35頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：呼吸器系  
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：5.00g/day

併用薬：

内容：①対象：副鼻腔炎33例 期間：6ヶ月②結果：服用前後のX線所見を比較検討した結果、全体的に症状の改善が認められた③副作用：認められなかった